

放送朝会「本当の思いやり」 8/31

暑い日が続きますが、楽しい学校生活を送っていると思います。2学期になって自分の目標を決めたり、クラスで目標を決めたりしたと思いますが、クラスの居心地はどうですか。みなさんが居心地の良いクラスにするためには、お友達と仲良くすることが大切ですね。でも、お友達がクラスのルールを守らなかったり、迷惑をかけたり、いやな思いをすることもあってはいませんか。そんな時、みなさんはどうしていますか。

今日は、お友達と仲良くするとは、どういうことか、考えてみます。例えばのお話を4つします。あなただったらどうしますか。

- 例1 授業中に、うるさくしているお友達がいたら、どうしますか。注意しますか。それとも、注意すると仲が悪くなってしまおうので、少しくらいいいやと、放っておきますか。
- 例2 あなたが、お友達に嫌がらせをされたり、迷惑をかけられたりしたら、どうしますか。怒りますか。それとも、仲良くするために、多少のことは我慢しますか。
- 例3 お友達が廊下を走っていて、目の前で転んだら、どうしますか。走っていたのがダメなので、放っておきますか。それとも手を差し伸べて、大丈夫と、助けてあげますか。
- 例4 海で誰かがおぼれていたら、どうしますか。あわてて何もしませんか。それとも、浮き輪を投げたり、大人を呼んだりして、助けようとしていますか。

今、4つのお話をしましたが、共通して大切なことは、「思いやり」だと思います。そして、思いやりには、「相手を許す」ということが、とても大切だと考えます。「許す」というのは、授業中のおしゃべりや迷惑なことを我慢することとは、全く違います。

「許す」とは、相手の気持ちを想像することです。なぜ、おしゃべりをしてしまうのか、なぜ、嫌なことをしてしまうのか、なぜ、廊下を走ってしまうのか、想像し、どうしたらそういうことをしなくなるのか、考えることが「思いやり」です。

そして、お友達が、そういうことをしなくなったら、本当に仲良くなれますね。ただ単に注意をしたり、逆に、どんなことでも許したりというのは、本当の思いやりとは、違うような気がします。

では、どうしたらいいか、このお話の続きは来週しますので、みなさんも「思いやり」について、考えておいてください。